

# JIS

## アルミナ-マグネシア質耐火物の化学分析方法

JIS R 2014 : 1998  
(2008 確認)

平成 10 年 11 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

JIS R 2014には、次に示す附属書がある。

**附属書1 (規定)** アルミナ-マグネシア質耐火物中の酸化マグネシウムの陽イオン交換分離-EDTA  
滴定法

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 10.11.20

官報公示：平成 10.11.20

原案作成協力者：耐火物技術協会

審議部会：日本工業標準調査会 窯業部会（部会長 福浦 雄飛）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

# アルミナ-マグネシア質耐火物の 化学分析方法

R 2014: 1998

## Methods for chemical analysis of refractories containing alumina and magnesia

**序文** 耐火物の化学分析では、耐火物の各々の材質に合わせた分析方法を用いないと、正しい定量値を得ることができない。このため、日本工業規格では、各材質についての分析方法を制定、整備しているので材質に合わせて適用しなければならない。

この規格は、このような一連の耐火物の化学分析方法に関する規格整備の一環として、アルミナ-マグネシア質耐火物を対象に制定されたもので、ほかの材質へは適用できない。

- 1. 適用範囲** この規格は、アルミナ-マグネシア質耐火物の化学分析方法について規定する。
- 2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。
  - JIS K 0050 化学分析方法通則
  - JIS K 0115 吸光光度分析通則
  - JIS K 0116 発光分光分析通則
  - JIS K 0121 原子吸光分析通則
  - JIS K 8001 試薬試験方法通則
  - JIS R 2001 耐火物用語
  - JIS R 2551 キャスタブル耐火物の試験試料採取方法
  - JIS Z 8401 数値の丸め方
  - JIS Z 8801 試験用ふるい
- 3. 一般事項** 分析方法に共通な一般事項は、JIS K 0050、JIS K 0115、JIS K 0116及びJIS K 0121の規定による。
- 4. 定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS R 2001によるほか、次による。
  - a) アルミナ-マグネシア質耐火物** 化学成分として酸化アルミニウム10~95 mass%及び酸化マグネシウム3~80 mass%を含有する耐火物。
  - b) 乾状不定形耐火物** 粒及び粉末で構成される耐火物。
  - c) 湿状不定形耐火物** 粒及び粉末に液状物質を加えて構成される耐火物。
- 5. 分析項目** この規格で規定する分析項目は、次による。
  - a) 強熱減量 (LOI)**